【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【公開番号】特開2000-69442(P2000-69442A)
【公開日】平成12年3月3日(2000.3.3)
【出願番号】特願平11-226376
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　7/08　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/081　(2006.01)
Ｈ０４Ｊ　3/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　7/08　Ｚ
Ｈ０４Ｊ　3/00　Ｍ
Ｈ０４Ｎ　7/13　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年12月9日(2005.12.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　複数のフレームを含む動画に付加情報を結合させる方法において、
（ａ）前記フレームの少なくとも１枚を識別することと、
（ｂ）前記動画から分離した記述ストリームを供給することと、
（ｃ）少なくとも１枚の前記フレームと関連する前記記述ストリーム中に前記付加情報を含ませることと、
（ｄ）表示装置上に表示する前記動画を供給することと、
（ｅ）前記動画を供給すると略同時に視聴者に前記付加情報を選択的に提供することからなることを特徴とする付加情報結合方法。
【請求項２】　前記付加情報は、オブジェクトインデックス、テキスト記述、音声注釈、画像特徴、オブジェクトリンク、ＵＲＬリンク及びＪａｖａアプレットの少なくとも１つを含むことを特徴とする請求項１に記載の付加情報結合方法。
【請求項３】　前記識別するオブジェクトは前記フレーム内のオブジェクトであることを特徴とする請求項１に記載の付加情報結合方法。
【請求項４】　前記付加情報は前記オブジェクトに関連することを特徴とする請求項３に記載の付加情報結合方法。
【請求項５】　前記記述ストリームは前記動画を前記記述ストリームと同期させるインデックスを含むことを特徴とする請求項１に記載の付加情報結合方法。
【請求項６】　前記付加情報は前記オブジェクトに関連するテキストベースの情報を含むことを特徴とする請求項４に記載の付加情報結合方法。
【請求項７】　前記付加情報は前記オブジェクトに関連する音声情報を含むことを特徴とする請求項４に記載の付加情報結合方法。
【請求項８】　前記付加情報は、前記オブジェクトに関連するテクスチャ、形状、優勢色及び動きモデルの少なくとも１つからなる画像特徴を含むことを特徴とする請求項４に記載の付加情報結合方法。
【請求項９】　前記付加情報は前記動画内の他のオブジェクトとフレームの少なくと

も１つとのリンクを含むことを特徴とする請求項４に記載の付加情報結合方法。

【請求項１０】　動画システムにおいて、

（ａ）複数のフレームを含む動画を含む動画ストリーム内に前記フレームの少なくとも１枚と関連する付加情報を含ませる符号化器と、

（ｂ）前記動画と前記付加情報を受信し、前記付加情報の有無とは拘り無く独立して同一方法で前記動画を復号する受信機と、

（ｃ）前記動画を表示する表示装置と、

（ｄ）視聴者に前記フレームを提示すると略同時に前記視聴者に前記付加情報を選択的に提示するトリガ機構とからなることを特徴とする動画システム。

【請求項１１】　（ａ）前記動画信号と前記付加情報を伝送する送信機と、　（ｂ）前記動画信号と前記付加情報を受信する受信機をさらに装備したことを特徴とする請求項１０に記載の動画システム。

【請求項１２】　情報提示システムにおいて、

（ａ）画像と該画像に関連する付加情報を含む単一ファイルと、

（ｂ）前記付加情報が関連する前記画像中のオブジェクトを選択する選択機構と、

（ｃ）前記オブジェクトの選択に対応して視聴者に前記付加情報を提供する提示機構からなることを特徴とする情報提示システム。

【請求項１３】　前記付加情報は、

（ａ）前記画像内のオブジェクト位置を記述する情報を含む第１レイヤと、

（ｂ）前記画像内の前記オブジェクトに関する付加情報を含む第２レイヤとの少なくとも２つの層より組織され、前記第１レイヤは前記第２レイヤより少ないバイト数を含むことを特徴とする請求項１２に記載の情報提示システム。

【請求項１４】　画像ファイルを作成する方法において、

（ａ）画像を提供することと、

（ｂ）前記画像中のオブジェクトを選択することと、

（ｃ）前記オブジェクトに関連する付加情報を提供すること、

（ｄ）前記画像と前記付加情報を単一ファイルに蓄積することからなることを特徴とする画像ファイル作成方法。

【請求項１５】　前記付加情報は、前記画像内のオブジェクト位置を記述する情報を含む第１レイヤと、前記画像内の前記オブジェクトに関する付加情報を含む第２レイヤとの少なくとも２つの層より組織され、前記第１レイヤは前記第２レイヤより少ないバイト数を含むことを特徴とする請求項１４に記載の画像ファイル作成方法。

【請求項１６】　前記第１レイヤは該第１レイヤの長さを記述する長さ識別子を含むことを特徴とする請求項１５に記載の画像ファイル作成方法。

【請求項１７】　前記第１レイヤは該第１レイヤにより識別されたオブジェクト数を記述するオブジェクト数識別子を含むことを特徴とする請求項１５に記載の画像ファイル作成方法。

【請求項１８】　前記第１レイヤは特定の前記オブジェクトと関連するデータ項目数を記述するデータ数識別子を含むことを特徴とする請求項１５に記載の画像ファイル作成方法。

【請求項１９】　前記第２レイヤは該第２レイヤの長さを記述する長さ識別子を含むことを特徴とする請求項１５に記載の画像ファイル作成方法。

【請求項２０】　前記第２レイヤは、各データ項目の始点を識別するオフセットのアレイを含むことを特徴とする請求項１５に記載の画像ファイル作成方法。

【請求項２１】　前記第２レイヤは前記オブジェクトに関連する音声データを含むことを特徴とする請求項１５に記載の画像ファイル作成方法。

【請求項２２】　前記第２レイヤは前記オブジェクトに関連するテキストによる注釈を含むことを特徴とする請求項１５に記載の画像ファイル作成方法。

【請求項２３】　前記第１レイヤは、第１コンピュータから第２コンピュータに、前記画像と共に伝送されることを特徴とする請求項１５に記載の画像ファイル作成方法。

【請求項２４】　前記第２レイヤの部分は、前記第１コンピュータから前記第２コンピュータに該第１コンピュータの要求によって伝送されることを特徴とする請求項２３に記載の画像ファイル作成方法。

【請求項２５】　前記要求は、ユーザの前記画像内オブジェクトの選択に対応していることを特徴とする請求項２４に記載の画像ファイル作成方法。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
請求項４の発明は、請求項３の発明において、前記付加情報は前記オブジェクトに関連することを特徴としたものである。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
請求項５の発明は、請求項１の発明において、前記記述ストリームは前記動画を前記記述ストリームと同期させるインデックスを含むことを特徴としたものである。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
請求項６の発明は、請求項４の発明において、前記付加情報は前記オブジェクトに関連するテキストベースの情報を含むことを特徴としたものである。
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
請求項７の発明は、請求項４の発明において、前記付加情報は前記オブジェクトに関連する音声情報を含むことを特徴としたものである。
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
請求項８の発明は、請求項４の発明において、前記付加情報は、前記オブジェクトに関連するテクスチャ、形状、優勢色及び動きモデルの少なくとも１つからなる画像特徴を含むことを特徴としたものである。
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００２３】
請求項９の発明は、請求項４の発明において、前記付加情報は、前記動画内の他のオブジェクトとフレームの少なくとも１つとのリンクを含むことを特徴としたものである。
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
請求項１０の発明は、動画システムにおいて、（ａ）複数のフレームを含む動画を含む動画ストリーム内に前記フレームの少なくとも１枚と関連する付加情報を含ませる符号化器と、（ｂ）前記動画と前記付加情報を受信し、前記付加情報の有無とは拘り無く独立して同一方法で前記動画を復号する受信機と、（ｃ）前記動画を表示する表示装置と、（ｄ）視聴者に前記フレームを提示すると略同時に前記視聴者に前記付加情報を選択的に提示するトリガ機構とからなることを特徴としたものである。
【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
請求項１１の発明は、請求項１０の発明において、（ａ）前記動画信号と前記付加情報を伝送する送信機と、（ｂ）前記動画信号と前記付加情報を受信する受信機をさらに装備したことを特徴としたものである。
【手続補正２１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正２５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
請求項１２の発明は、情報提示システムにおいて、（ａ）画像と該画像に関連する付加情報を含む単一ファイルと、（ｂ）前記付加情報が関連する前記画像中のオブジェクトを選択する選択機構と、（ｃ）前記オブジェクトの選択に対応して視聴者に前記付加情報を提供する提示機構からなることを特徴としたものである。
【手続補正３０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３９
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正３４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４０】
請求項１３の発明は、請求項１２の発明において、（ａ）前記付加情報は、前記画像内のオブジェクト位置を記述する情報を含む第１レイヤと、（ｂ）前記画像内の前記オブジェクトに関する付加情報を含む第２レイヤとの少なくとも２つの層より組織され、前記第１レイヤは前記第２レイヤより少ないバイト数を含むことを特徴としたものである。
【手続補正３５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正４３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５８
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正５３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６８
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正６３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７８
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正７３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８８
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正８３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９１】
請求項１４の発明は、画像ファイルを作成する方法において、（ａ）画像を提供することと、（ｂ）前記画像中のオブジェクトを選択することと、（ｃ）前記オブジェクトに関連する付加情報を提供すること、（ｄ）前記画像と前記付加情報を単一ファイルに蓄積することからなることを特徴としたものである。
【手続補正８６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９６】
請求項１５の発明は、請求項１４の発明において、前記付加情報は、前記画像内のオブジェクト位置を記述する情報を含む第１レイヤと、前記画像内の前記オブジェクトに関する付加情報を含む第２レイヤとの少なくとも２つの層より組織され、前記第１レイヤは前記第２レイヤより少ないバイト数を含むことを特徴としたものである。

【手続補正９１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９８】
請求項１６の発明は、請求項１５の発明において、前記第１レイヤは該第１レイヤの長さを記述する長さ識別子を含むことを特徴としたものである。
【手続補正９３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９９】
請求項１７の発明は、請求項１５の発明において、前記第１レイヤは該第１レイヤにより識別されたオブジェクト数を記述するオブジェクト数識別子を含むことを特徴としたものである。
【手続補正９４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１００
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１００】
請求項１８の発明は、請求項１５の発明において、前記第１レイヤは特定の前記オブジェクトと関連するデータ項目数を記述するデータ数識別子を含むことを特徴としたものである。
【手続補正９５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０２】
請求項１９の発明は、請求項１５の発明において、前記第２レイヤは該第２レイヤの長さを記述する長さ識別子を含むことを特徴としたものである。
【手続補正９７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０３】

請求項２０の発明は、請求項１５の発明において、前記第２レイヤは、各データ項目の始点を識別するオフセットのアレイを含むことを特徴としたものである。
【手続補正９８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１００】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０６】
請求項２１の発明は、請求項１５の発明において、前記第２レイヤは前記オブジェクトに関連する音声データを含むことを特徴としたものである。
【手続補正１０１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０８】
請求項２２の発明は、請求項１５の発明において、前記第２レイヤは前記オブジェクトに関連するテキストによる注釈を含むことを特徴としたものである。
【手続補正１０３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０６】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１１２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１９】
請求項２３の発明は、請求項１５の発明において、前記第１レイヤは、第１コンピュータから第２コンピュータに、前記画像と共に伝送されることを特徴としたものである。
【手続補正１１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１２０】
請求項２４の発明は、請求項２３の発明において、前記第２レイヤの部分は、前記第１コンピュータから前記第２コンピュータに該第１コンピュータの要求によって伝送されることを特徴としたものである。

【手続補正１１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１２１】
請求項２５の発明は、請求項２４の発明において、前記要求は、ユーザの前記画像内オブジェクトの選択に対応していることを特徴としたものである。